

シジュウカラの生態



巣立ちしたシジュウカラの雛

村上洋一 著

はじめに

2021年、我が家の近くのお宅の電気メーターボックス内に、シジュウカラが巣を作り雛が産まれました。2羽の親が頻繁に餌を運んで来て、雛の姿は見えませんが順調に育ち、しばらく経って雛は巣立っていきました。

このシジュウカラの巣作りにより、シジュウカラは住宅街でも巣作りをすることを知り、2022年7月に我が家の庭に巣箱を2個設置しました。2022年は、巣作りは行われませんでした。2023年、2024年、2025年の3年連続でシジュウカラの繁殖(巣作り・産卵・抱卵・孵化・巣立ち)が行われました。



2022年に我が家に巣箱を設置し、4年間に渡りシジュウカラの生態を観察しました。シジュウカラの生態についてはネットで紹介されていますが、この4年間の観察でシジュウカラの生態を実際に見ることができました。

ネットで紹介されている生態を参考にし、私が実際に見た生態状況を記述します。本文中の写真は全て私が撮ったものです。

1. シジュウカラ

シジュウカラについてネットで調べると以下の記述があります。

(1)シジュウカラとは

- ・スズメ目シジュウカラ科の鳥で、市街地や公園、森など、様々な場所に生息する留鳥
- ・白い頬と胸から腹にかけての黒いネクタイ模様が特徴、全長14.5cm、体重約14g
- ・平均寿命は1年半から2年
- ・シジュウカラの天敵は主に、タカ、モズ、カラス、ヘビなど
- ・食性は雑食で、果実、種子、昆虫やクモなど

(2)シジュウカラの繁殖

- ・3月下旬頃から巣作りを始め、5月中旬頃に巣立ち
- ・色々な場所に、メスが1週間かけて巣を作る
- ・繁殖が始まると雌は毎朝1個ずつ卵を産み、平均8~9個を産卵
- ・産卵が終わると雌が抱卵を開始、13~14日で孵化
- ・孵化後、雌雄の親が雛に餌を与え、孵化後10日目以降は頻繁に巣箱に出入り
- ・孵化後20日前後で巣立ち

2023年はこの繁殖の過程をあまり意識しないまま巣立ちを観察しましたが、2024年と2025年はこの繁殖の過程を意識して巣立ちを観察しました。以下に「我が家のシジュウカラの生態」を紹介します。

2. 繁殖

(1) 巣箱

2022年7月に巣箱を2つ設置しましたが、巣作りは行われませんでした。ネットによると「3月下旬頃から巣作りを始め、5月中旬頃に巣立ち」ということで、7月の設置は遅すぎました。

ベランダの柱に取り付けている巣箱①では2023年、2024年、2025年と3度の巣作り・巣立ちが行われました。また巣箱②では2025年に巣作り・巣立ちが行われました。2025年は巣箱①と巣箱②で、2度巣作り・巣立ちが観察できました。



ベランダの柱に取り付けた2つの巣箱

(2) 巣作り

巣は雌が一週間ほどかけて作ります。雛が巣立った後の巣箱の巣を観察しました。巣は約4~5cmの厚みの平らな形状で、主に苔、動物の体毛などでできています。



巣立った後の巣箱①の中



主に苔で作られたフワフワの巣
縦、横 13cm 厚み 5cm



巣立った後の巣箱②の中



縦、横 13cm 厚み 4cm

(3)産卵・抱卵・孵化

雌が毎日1個ずつ卵を産み、8～9個産み終わると雌は抱卵を始めます。雌のみが抱卵し、抱卵開始後約12～14日で雛が孵化します。雌が産卵・抱卵中は、雄は近くの電線上などで待機しますが、雌雄のペアは互いに鳴き交わします。



雌は巣箱の中で産卵・抱卵中



電線上で待機する雄

写真は抱卵の期間中、雌のいない時に巣箱を覗いて撮ったものです。3個の卵があり、孵化した4羽の雛がいました。



3個の卵と孵化した4羽の雛

(4)餌やり

雌雄のペアの親が餌を取ってきて、巣箱の中の雛に餌を与えます。

雛が小さいうちは、親は巣箱の中に入って餌を与えますが、雛が大きくなると親が巣箱の中に入れなくて、尾を巣箱の入り口から出した状態、さらには頭だけ巣箱に入れた状態、さらには巣箱の外から雛に餌を与えます。



餌を運んでくる親

雛が大きくなるにつれて親の餌やりの頻度が上り、5分に一度程度の餌やりになります。



親は胴体だけ巣箱の中に入れて餌やり



親は頭だけ巣箱の中に入れて餌やり



親は巣箱の外から餌やり

雛は白い綿のような糞をしますが、親は餌やりの後糞を啜って飛んで行きます。



(7) 巣立ち

雛は孵化してから 16～19 日で巣立ちます。餌を啜ったペアの親が巣箱の屋根にとまり雛に巣立ちを促します。雛は入口から顔を出し周囲を窺い、その後上半身を入口から外に出し巣立って行きます。



巣立ちを促すペアの親と巣箱の中の雛



周囲を窺うため巣箱から頭を出した雛



巣箱から頭を出した雛



足を出した雛

雛は巣箱の周囲の状況を把握していなく、また飛べる力と物をつかむ力が十分でないので、巣箱から落ちるような状態で色々な場所に飛んで行きます。



地面に落ちた雛



庭の外構フェンスにとまった雛



ラティスフェンスにとまった雛



紅カナメの葉の中に飛び込んだ雛

(7) 巣立ち後

雛は巣立ち後数日間巣箱の周りで過ごします。その間雌雄の親は近くで見守ります。巣立ち直後雛は餌を自らは捉えられないので、親が取ってきて雛に与えます。



雛に餌を与える親

3. 仲間とのコミュニケーション

東京大学の鈴木俊貴准教授は、シジュウカラの仲間とのコミュニケーションとして、鳴き声によるものとジェスチャーによるものがあるという研究成果を発表しています。

(1) 鳴き声による会話

「ピーツピ」、「ジャージャー」など 20 種類ほどのさえずりで仲間のシジュウカラとコミュニケーションをとっています。鳴き声の例と意味は次の通りです。

- ・ピーツピ：仲間を呼び寄せる声
- ・チチチチ：「集まれ」という呼びかけ
- ・ヒーヒーヒー：タカが来たことを知らせる
- ・ジャージャー：ヘビが来たことを知らせる

例えば「ピーツピ」と「チチチチ」を組み合わせると「ピーツピ・チチチチ」と鳴き、「警戒しながら集まれ」ということをさえずりで仲間に伝えています。

私が巣箱に近づくと、電線にとまった雄のシジュウカラが「ピーツピ・チチチチ」と鳴き、巣箱の中の雌に注意を促します。

(2) ジェスチャー

シジュウカラが翼をパタつかせて、ペアの相手に巣箱に先に入るよう伝えるジェスチャーを使っています。

写真は私が観察したもので、右のシジュウカラが羽をパタつかせ、左のシジュウカラに巣箱に先に入るように促しています。



羽をパタつかせる親

つがいの2羽

2025.12.10 記